

# CASBEE® 京都-新築

## 標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)Brillia京都松ヶ崎	階数	地上5F
建設地	京都市左京区松ヶ崎小竹藪町3-3	構造	RC造
用途地域	第一種低層住居専用地域、沿道型美観形成地区	平均居住人員	327 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年9月 予定	評価の実施日	2019年12月1日
敷地面積	6,489.79 m <sup>2</sup>	作成者	一級建築士事務所 株式会社東洋設計事務所 西村 和
建築面積	3,187.96 m <sup>2</sup>	確認日	2019年12月1日
延床面積	9,062.84 m <sup>2</sup>	確認者	一級建築士事務所 株式会社東洋設計事務所 西村 和



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.6** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>温暖化影響チャート

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.3**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.4

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.5

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
広いエントランスホールはテーブルやソファ等住民の憩いのスペースになっており、川に隣接した敷地内には中高木の計画など、積極的な緑地の計画をして、自然と共存した緑豊かで居心地の良い住居となっている	特に無し
<b>Q1 室内環境</b> 居室内は十分な自然換気と採光の取り入れが可能な窓を計画し、内装材はほぼ全面にF☆☆☆☆を使用	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 景観認定証の取得、緑豊かな緑地を計画し、防犯カメラの設置で住居者の安全と快適性が得られる
<b>LR1 エネルギー</b> 太陽光発電設備の設置、LED照明の採用	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率 63%
<b>Q2 サービス性能</b> 耐用年数の高い配管材、内装材を使用し、各居室にCat.5eの高度通信設備を採用している	
<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水コマや節水型便器の採用により、水資源の保全に対応しており、躯体と仕上げ材が容易に分別可能な設計になっている	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される